

<ふくふくまつりを終えて（幼児クラス）>

<もも組～3歳児>

普段からダンスが大好きで「〇〇おどりたい！」とリクエストをしてくれる子ども達。ふくふくまつりでも、大好きな♪布林バンバンボーンの曲に合わせてダンスを楽しみながら、親子で追いかけて玉入れをしました。ジャンプをしながらカゴにボールを入れたり、保護者に抱っこしてもらいながら、逃げ回る保育士の背負うカゴにシュート！ボールが入る度に笑顔がたくさん見られました。これからも少しずつルールのある遊びを楽しんでいけたらと思っています。春から「こびとづかん」に夢中で♪こびとビートの曲を踊ったり、親子自己紹介等も行い親子で楽しい時間を過ごせました。



<ひまわり組～4歳児>

ひまわり組は、かっぱパレード、ダンス、バルーン、チャレンジ、親子リレーなど、一人一人の「やりたい！」がたくさん詰まったふくふくまつりでした。当日は、初めて保護者の方と離れて参加する形となり緊張してしまう子どもも多かったです。その子なりの参加の仕方でもみんな頑張ることができました！日々の取り組みの中では、友達の頑張る姿を見て「ぼくもやる！」と鉄棒やのぼり棒にチャレンジする子どもがどんどん増え、新しい事や難しい事にも少しずつチャレンジしようとする姿がとてもカッコ良く、成長を感じました！今回のふくふくまつりの取り組みは、また次の意欲や自信に繋がっていくと思います。



<ゆり組～5歳児>

当日まで、子ども達と何度もミーティングをして作り上げてきたふくふくまつり。チャレンジでは自分のやりたい運動を選び、当日おうちの人に見てもらうことを楽しみに、頑張っていました。友達の姿を見て「〇〇君、すごいね！」と友達の良い所を認め合ったり、友達の頑張る姿に影響されて「自分もやってみよう！」という意欲につながり挑戦する姿もありました。なので、直前になり「やっぱり〇〇やりたい！」と種目を替える、という声も続々と・・・！”最大限の力を発揮したいんだ！”という子ども達の意気込みを感じました。また、ドッチボールやリレーでは当日まで勝ち負けを繰り返して、嬉しさや悔しさを味わいながら、チームの仲間意識も高まっていきました。当日はどの種目も全力で力を発揮していた子ども達。この達成感が今後の自信に繋がっていくと思います。

